

関西大学総合図書館 主催講演会

ぼくが『キャプテン翼』をアラビア語に訳しました。

أنا ترجمت الكابتن تسوباسا إلى اللغة العربية — 多文化共生のススメ —

日時：2018年12月5日（水）
14:40 - 16:10

会場：関西大学総合図書館1階
ワークショップエリア

定員：80名【募集開始：11月12日（月）】



《講演者》
カッスーマーM ウバーダ
(Kassoumah Obada)

1990年シリア・ダマスカス生まれ。
2009年ダマスカス大学日本語学科入学。
2012年来日。2014年東京外国語大学日本語科入学。
2018年卒業、株式会社紀伊國屋書店に入社。
2016年に紀伊國屋書店が企画した『キャプテン翼』のアラビア語への翻訳に従事、第1巻が同年11月26日に発売された。

サッカー漫画『キャプテン翼』は1981年に『週刊少年ジャンプ』で連載が始まり、アニメ版も日本だけでなく世界中で放映され、大人気となりました。イニエスタなど世界的な有名選手が本作のファンを公言しています。アラブ諸国では『キャプテン・マージド』として放映され、放映時には街角で遊んでいた子供たちがテレビを見るため一斉に姿を消したといわれています。

ウバーダさんは日本の大学で学び、少年の頃憧れた『キャプテン・マージド』の原作漫画を初めてアラビア語に訳しました。日本の漫画をアラビア語に翻訳するとは、いったいどんなことなのでしょう？アラブ諸国でも日本のアニメはたくさん放映されていますが、それらはアラブの世界観や習慣に合うよう手直しされているそうです。今回ウバーダさんには、翻訳の難しさや楽しさ、日本での経験で感じるカルチャーギャップ、母国シリアへの思いや将来の夢についても語っていただきます。



CAPTAIN TSUBASA ©1981 by Yoichi Takahashi/SHUEISHA Inc.

【『キャプテン翼』作者 高橋陽一先生からのメッセージ】

『キャプテン翼』はアラビア語など、外国の言語にも翻訳されて世界的に知られるようになりました。そして、描いた作品が国際的な平和に貢献していると聞きます。自分は漫画を描くことだけに日々集中しています。考えていることは「とにかくいい作品を残す」ということだけですが、これは素直に嬉しいことです。

高橋陽一

《申し込み方法》

インフォメーションシステム内からお申し込みください。
「大学サービス」→「申請・アンケート」→「募集」→
「ぼくが『キャプテン翼』をアラビア語に訳しました。」



本講演に関連した企画展示を総合図書館1階ラーニングエリア内で行います。

